

社協和泉

年始ご挨拶

第二創世記の

幕開けの年



和泉市社会福祉協議会
会長 辻村 一男

新年、あけましておめでとう
ございます。
皆様には、ご家族おそろいで
輝かしい初春をお迎えのことと
お慶び申し上げます。
旧年中は、社会福祉協議会の
運営にご支援をいただきました。
誠にありがとうございます。
社会福祉を取り巻く環境は、
経済不況の煽りで一段と厳しく、
高齢者や青少年の問題、更には
家庭崩壊等が取り沙汰される中、
社協の果すべき役割の大きさを
痛感するところでありました。
市社協では、こうした時代の
変化に即応していくべく、昨年、

「社協改革委員会」を発足し、
「社協あり方検討委員会」から
提言されていた事項に基づき、
関係団体等と社協の連携による
地域福祉活動と社協の体力向上
を機軸にした「経営改革プラン」
を策定いたしました。
また、積年来の課題であった
市立総合福祉会館の管理運営を
指定管理制度により新年度から
受託できる見通しが整うなど、
和泉市社協が、進むべき新たな
進路が拓かれようとしています。
まさに平成23年は、和泉市社
協にとっては「第二創成期の幕
開けの年」であります。

第 77 号
平成23年1月1日発行
発行所
社会福祉法人
和泉市社会福祉協議会
和泉市府中町四丁目20-4
(和泉市立総合福祉会館内)
電話 (0725) 43-7513
編集兼 辻村 一男
発行人

このことを役職員一同、十分
認識し、関係皆様方のご期待に
応え得るべく、鋭意取り組んで
まいる所存でございますので、
変わらぬご支援を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。
結びに際し、皆様のご多幸と
ご繁栄をご祈念申し上げます。
年始のご挨拶といたします。

第18回 社会福祉の集いを 開催しました

第18回社会福祉の集いが、昨
年11月13日(土)に市立総合福
祉会館にて大勢の方々の参加を
得て盛大に開催されました。
午前中は、校区社協ボランテ
ィアによる模擬店の出展など
会場内は「福祉に集う人たちの
交流の場」となりました。当日、
バザー・模擬店等で得た収益は
校区社協ボランティアの活動に
有効活用させていただきます。
午後には、ボランティア等の



「笑う門には福祉あり!!」
落語家の「桂 文福氏」による
— 文福ふれあいほのほの噺 —
の講話に満席の会場は大いに盛
り上がりました。



各校区から出店の模擬店

「和泉市経営改革 プランが策定さ れました」

昨年10月25日に開催された社
協改革委員会において、社協の
経営改革プランが策定されまし
た。
同プランでは、社協事務局が、
地域のニーズと実態に見合った
取組を地域と一体となつてす
めていくことを基本としてまと
められ、更に分りやすくお伝え
するために、その「概要版」を
作成しました。
詳細につきましては、2ペー
ジに掲載しています。

第3回 和泉きらめき障がい者作品展を開催しました

参加者が折った折り鶴で
きれいな「すいせん」の
花の絵ができました



昨年12月4日(土)～6日(月)に市立総合福祉会館にて、第3回目となる和泉きらめき障がい者作品展を開催しました。作品展には、和泉市で活動されている障がいのある方が制作された作品265点が展示され、いずれの作品も、一人ひとりが思いを込めて制作した作品ばかりでした。また、今回は開催場所が変更になりましたが、前回は上回る888名もの参加

をいただきました。

この作品展は、作品展を開催することによって、地域の障がい者福祉サービスの充実や連携・交流、障がい者の社会参加の促進等を図り、誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりをめざすことを目的としています。この趣旨の一環として、初日には市長・教育長にもお越しいただき、オープニングセレモニーを開催しました。

この作品展が、障がいのある方の社会参加の場となっていくことを確信しながら、今後の取組につなげていきたいと考えています。

第7回 すこやか文化祭

1610人の来場者で賑わう!

和泉市老人クラブ連合会、和泉市社会福祉協議会共催による第7回すこやか文化祭が昨年12月1日(水)から3日(金)までの3日間、和泉シティプラザで開催されました。

作品展は3階レセプションホールに写真、洋画、日本画、水彩画、水墨画、墨彩画、俳画、ちぎり絵、仏画、押花、彫刻、書、絵手紙、工芸、手芸など多分野にわたる力作170余点が展示され、3日間の来場者は延べ950人を超す盛り上がりでした。

力作の前に長時間立ち止って見惚れている人や精巧な工芸作品の制作過程を質問する人、連れの友達に「来年こそ出品するぞ」と意気込みを宣言する人など、賑やかな展示会場の光景があちこちで見られました。演芸大会は最終日の3日、弥生の風ホールで行われました。定刻11時30分、会場はほぼ満席になり、社協、辻村会長の挨拶及び来賓の挨拶後、いよいよ幕が上がり、南池田校区の大正琴演奏に始まり、民踊、新舞踊、



フラダンス、社交ダンス、詩吟、ハーモニカ演奏、カラオケなど33の演目が4時間にわたり、次々披露されました。熱演に加え、顔見知りの出演者が多いこともあって拍手は鳴りやまず、司会者が進行に躊躇する場面もありましたが、大盛況裏に閉幕しました。

「ひとり親家庭入学祝金」 希望者募ります!

「歳末たすけあい運動」に寄せられた義援金の一部を、地域の校区社会福祉協議会を通じ、希望者へお届けします。

※対象 和泉市在住のひとり親家庭で、扶養している児童が平成23年4月に小学校または中学校に入学する家庭

※金額 5,000円

※申請方法 所定の用紙(和泉市社会福祉協議会にあります)に必要な事項を記入・押印し和泉市社会福祉協議会に申込みしてください

※受付時期 1月17日～2月10日
午前9時～午後5時15分
(土、日曜日祝日を除く)

※受付場所 和泉市社会福祉協議会
府中町4-20-4
TEL 43-7513

和泉市社会福祉協議会 経営改革プランの概要

和泉市社協では、地域に積極的に伺い、地域の声を踏まえた制度設計や事業運営を行うことができるよう、地域活動の支援や人材育成、広報の充実など12項目の改革メニューを掲げた「和泉市社会福祉協議会経営改革プラン」を策定しました。

計画期間は平成22年度から平成24年度までの3か年で、毎年、和泉市社会福祉協議会改革委員会において進行管理を行った上、広報等で実施状況を公表します。

こうした活動を繰り返すことで、和泉市社協の足腰を鍛え、地域の「つながり」を深められるよう、一つひとつ丁寧にすすめていきたいと考えています。

みなさまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

なお、詳細は、ホームページをご覧ください。

☎ <http://izumi-syakyo.net/>

こころの健康ボランティアセミナー

～人との出会いから、
新たな自分発見の旅に…！～

仕事や子育てから少し手が離れてできた、自分の大切な時間を有効に使いたい…と思っているあなた！！ボランティアをはじめませんか？

自分自身にも大いに関係ある心の病について学び、考えを深め、あなたのできることを発見し、共に歩みをはじめませんか？

1回目 1月31日(月)

「こころの病とその障がい」

2回目 2月7日(月)

施設・作業所の紹介と
当事者の体験談
「病と生きる私の生活」

3回目 2月8日(火)～19日(土)

精神障がい者社会復帰施設
(作業所・支援センター)体験・見学
※連続ではありません。日程と
関心のある施設を調整します。

4回目 2月21日(月)

講座振り返り・交流会
～ボランティア活動の実際から～

場所 和泉市コミュニティセンター

時間 午後2時～4時 定員 20名(参加費は無料です)

問い合わせ・申し込み

地域活動支援センター ふれあい (日・木・祝祭日 休み)

TEL・FAX 0725-40-1827 午前10～午後6時

1月5日(水)より受付開始です。

平成22年10月から12月までに
社会福祉協議会に寄せられた
基金へのご寄附です。



ありがとうございました

和泉市民生児童委員協議会 50,000円

和泉商工会議所女性会 50,000円

和泉市商工まつり実行委員会 300,000円

ご存知ですか？ 医療機関で仕事をする社会福祉専門職がいることを

桃山学院大学社会学部社会福祉学科 丸山 裕子

我々は、誰しもライフサイクルのあらゆる段階で、予期せぬ病気やけがなどにより医療機関とかかわる可能性があります。時には、患者さんご本人のみならずご家族も含め、これまでの生活を継続することがむずかしい状況におかれる場合があります。例えば、長期入院による治療費や生活費などの経済的問題や職場との調整、こどもや高齢者を家族にもつ主婦の場合は療養中の養育や介護の問題、あるいは慢性疾患や治療後も何らかの生活上の障がいや予想される場合は退院後の生活設計の問題、などがあげられます。治療そのものには直接関係がないようにも思えますが、患者さんが安心して療養に専念するためにはとても大切なことです。また、最近の医療は非常に高度化・専

門化し、我々にはなかなか理解しにくいことも多くなっています。診察場面では、用意してきたはずの質問や希望を医師にうまく伝えられなかった経験をもつ方も少なくないのではないのでしょうか。

こういった患者さんやご家族がかかえる様々な療養上の悩みや生活上の問題の相談窓口となるのが医療機関の中で活動する社会福祉専門職(医療ソーシャルワーカー)です。医療機関に必ず配置されているという職種ではないのですが、配置されている医療機関では、医療(福祉)相談室や地域連携室などに所属していることが一般的です。

医療機関とのかかわりが必要になったとき、少しでも「困ったなあ」と感じたら、思い出してください「医療ソーシャルワーカー」の存在を。

広告欄



桃山学院大学
St. Andrew's University

「世界の市民」を養成する
Fostering Citizens of the World

桃山学院大学

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 Phone 0725-54-3131(代)
URL <http://www.andrew.ac.jp>

桃山学院中学校 高等学校
〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-1-64 Phone 06-6621-1181(代)

有料広告募集

社会福祉協議会では、機関紙を年に5回発行します。企業・商店で、広告掲載希望の場合は、下記までご連絡を

☎0725-43-7513

掲載料

1枠(縦48ミリ×横55ミリ)
1回 30,000円
3回連続 80,000円
5回連続 130,000円

お気軽にどうぞ

(予約不要・秘密厳守・無料)

心配ごと相談

毎週火曜日(祝日休み)

午後1時30分～4時

市立総合福祉会館内相談室

一人だけで悩まないでください。

ボランティアフェスティバル大盛況の報告



昨年、11月20日(土)にアムゼモール広場でアイ・あいロビー主催のボランティアフェスティバルが「楽しくつなぐボランティア アイ・あいロビー」をテーマに開催されました。

ボランティアフェスティバルの開催は今年で13回目を数え、和泉市内外で活躍されているグループの舞台発表や、グループの活動紹介のためのパネル展示、実際に活動を体験してもらえるようにワークショップ、アイ・あいロビーに登録されているボランティアによるフリーマーケット、最後には豪華景品が当たる抽選会もあり、盛りだくさんの内容で盛り上がりました。

ボランティアフェスティバルを通じて、実際にボランティア活動をされている方は、さらにボランティアの意義を充足され、ボランティア活動をしていない方には少しでもボランティアの楽しさを感じていただくなど、ボランティア活動の後押しができることを目標に開催しております。

アイ・あいロビーでは、ボランティアフェスティバル以外にも教室や交流会などの行事を多く開催していますので、興味や疑問点がありましたら、一度アイ・あいロビーまでお問い合わせください。

(57-0294)



いずみファミリー・サポート・センターだより

子育て・困ったときはここに

こんな時、援助してほしい

依頼会員

- 保育施設への送迎ができないとき
- 保育施設や学校の終了後、子どもだけで心配
- 保護者の通院や、美容院、買い物に行くとき
- 園、学校の休みのとき
- 子育てを離れて、スポーツや講演会などに行くとき
- その他育児の援助が必要なとき

子育てのお手伝いがしたい

提供会員

- 子育ても終わった今、子育て中の方のお手伝いをしたい
- 保育士、看護師などの資格や経験を活かして、地域の子育て支援がしたい
- 子どもが好きで時間に余裕ができた

会員の資格

提供会員 和泉市在住で子どもを預かれる方。
当センターが実施する研修(12時間程度)を修了した方。

依頼会員 原則として、和泉市在住で生後2ヶ月以上、小学校3年生までのお子さんをお持ちの方。
当センターが実施する研修(2時間程度)を修了した方。

両方会員 提供会員と依頼会員の両方を兼ねることもできます。

利用料金 1時間 **700円**

研修は6月と11月に実施
(依頼会員については毎月)

☆センターでは会員は補償保険に加入します。
(保険料は当センターが負担します。)

問い合わせ 和泉市社会福祉協議会 **いずみファミリー・サポート・センター**
TEL0725-43-7922 FAX0725-41-3154

ふれあい配食サービス業者募集します

募集内容

条件

- ・ 月4回、1回あたり200~300食程度の昼食弁当を調理できること
- ・ 約1時間半の間に、弁当を10℃以下に保ち10~20か所のステーションへ配達できること
- ・ 調理施設が和泉市内に住所を有すること等

受付期間 1月11日(火)~1月28日(金)の午前9時~午後5時15分(土、日曜日を除く)

申し込み 申込書に必要事項を記入し、1月28日(金)までに社会福祉協議会へ直接提出してください

母子家庭に高校入学支度金をお貸しします

母子家庭で扶養している子が、高等学校、高等専門学校(学校教育法に規定するもの)、盲学校、ろう学校、支援学校の高等部に入学するにあたって、必要な資金を無利子でお貸しします。

- ※**貸付限度額** 最高20万円(無利子)
- ※**償還方法** 卒業後3ヶ月据置、元金均等20回以内
- ※**申込資格** 市内に居住されている方
- ※**申込書類** 借入申込書、民生委員の意見書、家族全員の住民票、印鑑証明書、入学証明書、所得証明書、必要な経費を証明できるものなど
- ※**保証人** 市内に居住されていて市民税を納めている方1名
- ※**申込締切** 3月末日
- ※**その他** 申込み多数の場合審査委員会で決定
- ※**受付窓口** 市社会福祉協議会 Tel 43-7513



社会福祉法人 和泉市社会福祉協議会
〒594-0071
和泉市府中町四丁目20番4号
(和泉市立総合福祉会館内)
Tel (0725) 43-7513
Fax (0725) 41-3154
Eメール: izumisya@abelia.ocn.ne.jp
http://izumi-syakyoo.net/